

文化さぬき

発行：さぬき市文化協会 〒769-2492 さぬき市津田町津田138-15 電話0789-42-3109
印刷：(有)コピーライト 〒769-2101 さぬき市志度645-3 電話087-894-4118



第3回香川県文化協会文化集會の
公開リハーサル風景

さぬき市文化協会 編組

そもそも市の文化協会が設立、発足したのは平成十四年十月十六日のこと。基本的には、今までの五つの町の組織をそのままに、その上部団体（本会）を作り、下部団体としての支部組織を五つの旧町の文化協会（五支部）が成すことになりました。いわば、今までの組織を生かしつつ、新しい組織としても機能するものであります。

また、文化団体の所属部門についても交通整理を行ってあります。合併以前においては、個々の町での部門や分野を決めていたのですが、合併したからには一定の枠組みが必要です。そこで県内の状況を調査し、各種団体の所属する部門、分野分けを実施しています。ちなみに、音楽、芸能、文学文芸、民俗歴史自然科学、美術工芸、生活文化の六部門としました。

補助金
市からの補助金は、今まで五つの町がそれぞれ支出していた予算を集め、まとめて本会へ補助いただき、それを各支部へ分配することとしました。また、新たに本会が生まれたことから本会事業として、大き

く三つ①組織強化事業の広報活動②諸活動支援事業を掲げ、市教育委員会との連携協力事業を行うことを協会へ可決しました。これに伴い、本部事業費、各支部助成金、各部門助成金等に市補助金を分けることになりました。

事業
本部事業において本年度は、組織強化事業として愛媛県北条市の文化協会へ視察研修、伊方原発への研修を実施しました。また、文学文芸部門での取り組みを支援する方策として、吟行ポストの設置があります。これは、旧長尾町の俳句ポストを市内の観光勝地に設置し、俳句のみならず短歌や川柳等も投稿して頂けるようにするものです。なお、本年度においては長尾以外の地区へ吟行ポストを建てる予定です。更に今年度は、県文化協会連合会による文化集會がさぬき市で開催されることになりました。

これは、県内の各市町文化協会の役員等がユニークな文化活動を研修したり、施設見学を行うもので、県内からさぬき市へ96名が訪れました。文化活動としては津田のブチミュージカルを取り上げ、志度音楽ホールでの公開のリハーサ

ル風景を紹介しました。施設見学地は大串自然公園で施設整備状況を説明しました。当日の参加者は、ホールで子供たちの熱心な観望姿に感動。その後は天気に恵まれて瀬戸内海の多島美を満喫し、四国唯一のワインに舌鼓を打っていました。支部活動、部門別活動については別の紙面で紹介させていただきます。

市民文化祭
第二回さぬき市民文化祭が市内各地区で開催されました。昨年は各々で例年通り実施されましたが、本年は「市内一つ」ということで、一般の参加賞配布を廃止し、地区でそれぞれ作成していたポスターを共通の統一ポスターにして印刷。各地区の要所へ掲示すると共に五地区の催しを網羅した共通ちらしを作成し戸配布、周知を図りました。

また市内五カ所の巡回アトラクションとして、独楽によるパランス芸とジャグリングの妙技の路上パフォーマンスを実施しました。どちらも子供たちがあまり目にも見えないもので、当日子供たちはもちろん大人も熱心に観入っていました。各地区での文化祭についても別の紙面をご覧ください。

一日研修に参加して

窪川支部 中山公敬
さぬき市文化協会県外研修が計画され、愛媛県北条市及び四国電力（株）伊方原子力発電所へ行きました。

平成15年7月8日（火）午前7時津田支所、午前7時20分さぬき市役所前を予定どおり石原会長以下総勢40名で小雨の中出発。志度インターより高松自動車道に入り、愛媛小松インターより西条・菊間町経由で北条市図書館前に到着。北条市文化協会会長他同会員20名、各施設の館長様等多数のお出迎えを頂き大変感激を致しました。午前10時より北条市図書館・同市ふるさと館等を視察、非常に立派な設備に大変感動致しました。

視察後、同市文化協会の皆様との交流会となり、同市文化協会会長のご挨拶の後、協会の行事、各施設の利用状況等の説明がありました。行事の中で北条の子供文化祭開催準備の説明を受け、非常に参考となり、我が協会も検討すべきではないかと思われました。次の予定もあり短時間でありましたが、大変有意義な時間であったと思います。紙面をお借りして、北条市文化協会の大勢の皆様にご心より感謝申し上げます。



謝申しあげます。
また、我々も訪問を頂いた皆様へのご接待は斯くあるべきと思われました。お見送りを受けながら北条市を後に第二の研修地伊方へ向かいました。松山市内で昼食後、松山自動車道を一路ひた走り、大洲インター・八幡浜経由伊方発電所へ到着。よんでんハウジング倶楽部にて原子力発電、エネルギーのメカニクス等の説明を受け、バス内より発電所見学を致しました。四国電力（株）の発電量の四割が原子力発電だと聞き、伊方発電所の重要なことを認識致しましたが、放射線の問題等複雑な感じがありました。視察研修の行事も終わり、松山・高松自動車道と乗り継ぎ、事故もなく定刻に帰省しました。お世話頂きました四国電力大内出張所の皆様にご心より御礼申し上げます。

「文化さぬき」 創刊号に寄せて

さぬき市文化協会
会長 石原光久

「さぬき市文化協会」は、旧五町の文化協会が合併をし、平成十四年十月六日に設立されました。二九団体、四千名ほどの会員ですので、郊外のよい活動が求められます。さらには交流を深め、レベルアップをめざすため、設立以後、各部門および分野別の組織づくりに取り組んでまいりました。一応、組織は編成され、それぞれに発表会や展示会、大会などの発表や活動をおこなっている状況です。旧五町の文化協会は支部として存続しています。平成十五年度の文化祭は本部としての実行委員会の決定事項をもとに支部が工夫を凝らして、開催をしました。そして、各支部への参加、交流が実現したことが一つの試みとして、将来的文化祭に向けての検討材料ができたのではないかと考えております。

今後の課題として、風土に根差した文化活動を確立させるため、独自の「文化振興ビジョン」の策定が必要であると考えています。そして文化活動の拠点となる「市民会館」あるいは「文化会館」などの早期建設を実現させることです。
一日も早く合併の難味を楽極として受け止められるよう、また、多様化している社会環境の中で、「さぬき市」の文化活動のさらなる充実、発展を願わずにはられません。